

みよし

キラッとインタビュー



ケヤキ並木が続く通称「いも街道」に御茶屋「江戸屋弘東園」の看板がみえる。ここ上富は江戸時代、川越城主柳澤吉保が命じ開拓した土地、木1本としてなかった原野に木を植えさせ、落ち葉をすきこんで畑にした。整然と区画されたその面影が都心からこんなに近いところにみどりのオアシスとして残されている。初代は当時入植200軒余の農家のなかに医者を兼ねた茶屋として江戸・白金から移り住んだという。4代目から農家となり、特産の狭山茶製造販売と、サツマイモの栽培をしている伊東さんご夫妻は12代目。

今回のキラッとインタビューは茶業とサツマイモ農家として多忙な中、地域活動や陶芸・絵手紙など多彩な才能を活かして活動している素敵なご夫妻に話を伺いました。



伊東
上富
弘東園
おそれいのユニアーモでご登場
伊東藏衛さん・久子さんご夫妻



代々続く農家に嫁がれたことについて、久子さんにお話を伺いました。

結婚前は幼稚園の先生をされていたという久子さん、藏衛さんとは青少年相談員活動(※)をしている時に知り合い、少しずつ愛を育んでいったそうです。(笑)

家のことや農家のことなど全く分からず、嫁いで来られたとのことですが、今となっては多くの方が三富について研究に来ているのを見て、「いいところなんだなあ」と思っておられるそうです。

久子さんは、お店のかたわら絵手紙「コロリエ」・陶芸「彩陶庵」・童話作家等多様な活動をしています。

それは嫁としてなかなか自由がなかったときに「家に居て何か出来ること」という、自分がしの旅からはじめました。

そんな久子さんを藏衛さんは「何かやっているな?」と思いながら、応援してくれたそうです。(まさに今のワークライフバランスですね)

今は、外に出てみなさんに喜んでいただきたいので、南京玉すだれと津軽三味線をしているとのことです。

(※)青少年相談員・子どもたちに夢と希望を与える「頼れるお兄さん・お姉さん」として、各地域で活躍する青少年ボランティアのこと。

★ 製品開発も手がけていらっしゃいますね

家族みんなで考えています。例えばこの羊羹(店頭に並んでいる)も私たちが和菓子屋さんと何度も何度も相談しながらたどりついた商品です。これは埼玉県の優良ブランドになっていますし、全て三芳のもので作られており、心からお薦めするものをおいています。



★ 農家について

農業は定年が無いので、農村地区を見ていると健康管理も含めて、身体が動く間は農業をしている方がほとんどです。

私が親から教えられたのは「作物は足音を聞いて育つ」というのがあります。ということは「観察をよくしなさい」ということなのです。野菜たちは、手をかけなければかけるほど返ってきますから。種をまいたらまきっぱなしでは、虫に食われてあしまいかがる。それではダメなんですよ。

これは、子育ても同じですね。子どもは親の背中を見て育つ、といいますが、私は長女にも「跡取りになってほしい」と言ったことは一度もありませんが、こうして家業を継いで皆で頑張ってくれています。

★ 男女共同参画についてどう思いますか?

男女共同参画という難しい言葉よりも、おもしやり・助けあいの気持ちだと思います。

★ 三芳町について

三芳町いち振興会の会長をやってありますが、みどり豊かな田園都市としての町づくりをめざしてほしいですね。

又、上富に憩いの場となるようなところがあれば・・・。ギャラリーやカフェ等、少しでも上富のすばらしさを沢山の方に知っていただきたいです。

久子さんは好きなことをやっていたら、それが町の役に立っていた。藏衛さんは若い頃から町の様々な役職についてきたが、役を嫌がってやるなら、やらない方がいい。農家は家族で協力し合うのは勿論ですが、地域はみんなで盛り立てていかないと、例えばサツマイモ農家は今現在28軒ありますが、全員が農業の為町の為一致団結していくことが大切だと思います。

(三芳に対する深い熱い思いが、お二人の話からひしひしと伝わってきました。★★★)

★ 藏衛さんは家業が中心ですか?

今は家業が中心かな? あとは地域のこととか、役をやっているものですから・・・。

(現在、三芳町いち振興会会长・三芳町商工会町づくり協議会副委員長・日本ボイスカウト埼玉県連盟三芳団育成会長をしておられます)

でもこの間、10年ぶりに陶芸をやり、壺を上野の新日陶展に出演したら銅賞に選ばされました。

★ 家族のこと

娘さんが3人いらっしゃるそうですが・・・。

長女が吹奏楽、次女は彫刻(お店の玄関にユニークな木彫りのブタさんがいます。)

三女は絵が好きで、4人で(久子さん、娘さん3人)トレーナーやTシャツ・タオルなどのデザインを依頼され描いています。このトレーナーの文字もデザインしたもので、長女がデザインの会社を立ち上げて家族で分担し、絵を描く担当・字を書く担当等行っています。

(家族でひとつのものを作り上げることは素晴らしいですね☆☆☆)



★ 三芳町について

三芳町いち振興会の会長をやってありますが、みどり豊かな田園都市としての町づくりをめざしてほしいですね。

又、上富に憩いの場となるようなところがあれば・・・。ギャラリーやカフェ等、少しでも上富のすばらしさを沢山の方に知っていただきたいです。

久子さんは好きなことをやっていたら、それが町の役に立っていた。藏衛さんは若い頃から町の様々な役職についてきたが、役を嫌がってやるなら、やらない方がいい。農家は家族で協力し合うのは勿論ですが、地域はみんなで盛り立てていかないと、例えばサツマイモ農家は今現在28軒ありますが、全員が農業の為町の為一致団結していくことが大切だと思います。

(三芳に対する深い熱い思いが、お二人の話からひしひしと伝わってきました。★★★)